

# 南十字星

発行者  
クイーンズランド  
補習授業校  
校長  
丸山吉信

## 今後の予定

- 六月二十日～十月二十四日まで
  - ・教育相談期間
- 六月二十七日・第一学期終業式
  - ・海外子女文芸作品コンクール原稿締切
- 七月十一日・第二学期始業式
  - ・七夕集会
- 七月十八日・教員研修
  - ・第二回運営委員会
- 八月十五日・運動会
- 八月二十二日・社会科学学習日 (運動会予備日)
- 九月十二日・文集原稿締切

## 授業参観

五月三十日に授業参観が行われ、大勢の保護者の皆様に参観していただきました。

授業参観の最も大きな目的は、日頃行われている授業の様子をありのままに見ていただき、保護者の皆様に安心していただくことです。この趣旨に

基づいて、今回の授業参観では、児童生徒が保護者の前で作文を発表する特別の授業ではなく、国語または算数(数学)の教科書の単元を教えるところを見ていただくことにしました。大勢の皆様にお越しいただき、担任も子供たちも緊張とともに大いに張り切っている様子が窺えました。参観された方々からは、「よかった」との感想が寄せられました。



## 教育相談

十二時三十分から十五分ずつ毎回二組の保護者・担任懇談を実施していきます。各学級担任に予約を入れて下さるようお願い致します。

## 全校朝会スピーチ

四月十八日

中三 高木龍之進

皆さん、再来週に補習校の入学式があります。入学式は皆さんにとっても大事な式です。一年生の皆さん、小学校では算数や国語の勉強をします。たくさん問題を解いて頑張ってください。中一の皆さん、中学の勉強は小学校の時より難しいですが、頑張ってください。

五月三十日

中三 ブラウン ジェームス

みなさん、おはようございます。もうすぐ冬が来ます。朝晩とても寒くなりましたね。今、ブリスベンでは風邪がはやっていきますので、気をつけて下さい。外から帰ったら、うがいと手洗いをしっかりとして下さい。ショウガや青魚やかんきつ系の果物をよく食べると風邪をひかないそうです。みなさん、気をつけて下さい。

五月十六日

中三 ドナルドソン貴史

最近、毎日の温度が低くなってきました。まだ六月に入ってもいけないのに、

冬の天気になっています。昨日の朝はたったの九度だったので、セーターを着ていてもごえていました。きょうも十五度まで下がるので、体を暖かくして下さい。

## 掃除の時間

前号でお知らせした「掃除」を六月十三日から開始しました。A棟の二階の教室は枯草や鉛筆の削りかすなどで床が汚れていることが多いため、ブラシと塵取りセットを七十個購入し、日本の学校と同様に学級活動として掃除をすることにしました。各教室の掃除の他、中一はトイレ掃除の担当です。十三日に掃除をしている子供たちを見てみると、協力し合い、とても熱心にやっていました。この活動を通じて、日本の清潔習慣や公共の精神、他人に迷惑をかけないマナーなどが身に付くことを期待しています。



## 理社学習 (六月六日) 報告

一年一組

朝の時間…生活科

単元名… がっこうだいすき 二ページ

目標…日本とオーストラリアの学校生活を比べ、その違いに気付き、それを発表することができるようにする。

内容…「げたばこ」「うわばき」「きゅうしよく」「ランドセル」の四枚の絵を見て、それについて気が付いたことを話し合いました。その後、どうして日本では、学校に着いたら上履きに履き替えるのかという理由を皆で考えました。「床をきれいにしておくため。」という意見がすぐに出了ので、日本では子供たちが教室の掃除をするということを話すとき多くの子供たちが驚いていました。

午後の時間…生活科

単元名…ふゆをたのしもう 九十六ページ

目標…風を利用して遊ぶおもちゃを作り、友達と楽しく遊ぶ中で、風によって起こる現象の不思議さや、風を利用して遊ぶ楽しさに気付くことができるようにする。

内容…風とは何かという発問をし、ど

のようなときに風を感じるかについても話し合いました。外に出て、風を感じてみる活動をまず始めに行いました。短い紙テープを持って走り、風を体感し、またビニール袋で風を集め、目に見えない風を形として捉えさせました。それから、室内に戻り、風で動く紙のおもちゃと風車作りをしました。おもちゃを作っているときの子供たちは、真剣そのものでした。室内では、息を吹きかけて動く紙の動物でレースをして遊びました。外では、紙の風車を回して遊びました。子供たちは、とても嬉しそうに走りまわり、風車を回していました。楽しく遊びながら、風の存在に気が付いたようでした。

一年二組

朝の時間は、六、七ページの写真を見ながら、日本とオーストラリアの学校の違いを探しました。日本の幼稚園に行ったことがある児童も多く、子供達の中から、「日本の学校では、うわばきをはかないといけない。」「給食がある。」などの気づきが出てきました。

五、六時間目は、風を利用して作るおもちゃとして、風車と紙の動物を作りました。紙の動物を作ってから、四人ずつ、廊下で、上から息を吹きかけ

紙の動物競争をしました。風車は、外でまわして遊びました。どうやったら風車が速く回るかとの質問に、子供達の中から、「走ったら速く回る。」「風に向かって走ったら速く回る。」と意見が出ました。

二年一組

午後の生活科「ゴムでうごくおもちゃづくり」教科書の五十四ページにある「びよんびよんウサギ」を作りました。穴にゴムを通すのが難しかったようですが、ほとんどの子が自力で作りました。出来上がった子が、誰のウサギが一番良く跳ぶか競争を始めました。もつと高く飛ばすには、ゴムをねじったらどうか、二本つけたらどうか、セロテープでぐるぐる巻きにしてクリップが外れないようにしたらどうか、跳ばす時にコップの端を持った方がいいの意見が活発に出ました。ゴムの力について良く理解していたと思います。とても楽しく二時間があったと言う間に過ぎてしまいました。

三年一組

【社会】  
教科書最初の単元「わたしたちのまち みんなのまち」に取り組みしました。まず始めに二、三ページに書かれている町の様子を読み取りました。どんな

建物があるか、どんな人がいるか、どんなまちかみんなで話し合いました。また四ページからの「学校のまわり」を読みました。学校の周りにはどのような場所があるか、写真を見ながら考えました。そして自分達の通っている学校の周りについて話しました。

【理科】

三年一組は二二二ページから二三ページ「じしゃくのふしぎをしらべよう、(一)じしゃくにひきつけられるもの」の学習をしました。始めに磁石にどのようなものが引き付けられるか実験しました。一円玉、一〇円玉、アルミニウム缶、鉄の缶、ペットボトル、コップ、はさみ、クリップなどにつけ、磁石に引き付けられるものとひきつけられないものに分けました。その結果から鉄は磁石に引き付けられることが分かりました。そして水の入ったコップの中にあるクリップを、コップの外から磁石を近づけるとどうなるか調べてみました。磁石は離れている鉄も引き付けることがわかりました。そして一つの磁石の極同士を近づけるとどうなるか調べました。調べた結果同じ極同士は退けあい、違う極同士は引き付けあうことを理解しました。最後に校庭で砂鉄を探しました。